

平成 21 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 アサヒプリテック株式会社  
代表者の役職名 代表取締役社長 寺山満春  
(コード番号 5855 東証第 1 部)  
問い合わせ先 取締役財務担当 田辺幸夫  
(TEL.03-6270-1820)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 10 月 24 日に公表した、平成 21 年 3 月期通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 通期連結業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 10 月 24 日発表)	125,000	2,500	2,500	1,600	円 銭 46 77
今回修正予想 (B)	120,000	△ 1,500	△ 1,500	△ 1,000	△ 29 90
増 減 額 (B - A)	△ 5,000	△ 4,000	△ 4,000	△ 2,600	—
増 減 率	△ 4.0%	—	—	—	—
前期実績 (平成 20 年 3 月期)	117,460	10,825	10,858	6,450	180 93

#### 2. 業績予想修正の理由

前回発表時（平成20年10月24日）以降、金融危機は更に広がり、实体经济を蝕み、世界経済を激しく収縮させることになりました。これに伴い、金属価格も急落し事業環境は大きく悪化しました。この様な経済状況のもと、各業界の生産減に伴う金属回収量や環境保全事業関連排出量の減少、金属販売価格の急落及びたな卸資産の評価損失増加の影響は大きく、通期の売上高・営業利益・経常利益・当期純利益とも前回予想値を下回る見込みとなりましたので、上記の通り修正いたします。たな卸資産の低価法評価損失として、下期は24億円を通期は58億円を見込んでいます。

なお、当該当期純損失見込10億円の中には、金属価格下落で一時的に発生した評価損失58億円が含まれており、これを控除した当期の実質利益は48億円であります。このことを勘案し、利益の還元を優先して、配当に関する変更は行わない予定です。

### 3. 今後の対策

今後一層厳しさを増すであろう事業環境の悪化に対し、金属価格下落に対するヘッジの強化、役員報酬の10～50%の削減、設備投資の抑制、各種経費削減を実施します。今年4月よりスタートする次期中期経営計画においては、厳しい経済環境下ではありますが安定した収益を確保できるよう努めてまいります。

なお、上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、金属相場変動等によって変動することがあります。

以 上